



第4回 “銭湯であそぼう！” in 久米川湯

— 振り返り写真集 —

作成：2010.08.14 更新：2010.08.30



特定非営利活動法人ソーシャリス
代表：片山啓吾
090-4841-7423
Keigo@sociarise.or.jp

昭和の銭湯。

老若男女、地域のたくさんの方々が、一日の疲れを癒しに、
ここへ集っていました。そこはまさに**社交の場**。

そして現代。

地域での**人とのつながり**が希薄となり、
銭湯も地域も **なんだか元気がなくなっている……**

『今こそ銭湯』

地域のおじいちゃん、おばあちゃん、子育て支援関係の団体、行政職員、
学生たち、地域のみなさん、そして会場となっている**くめがわ湯さん**
の協力を得て実現した、『**銭湯で遊ぼう!**』

今や、多くの人にとって**非日常**となったこの銭湯を舞台に、
そこにあった**“小さな地域”**に触れ、この街の彩りを少しでも伝えたい!

このイベントが、こどもたちやママ・パパの良い思い出のひとつになり、
地域全体が、**子育てを応援**しているんだということを
イベントで表現できたらと思っています。

銭湯で**楽しい**ひとときを過ごせることを、スタッフ一同願っています!

NPOソーシャライズ
代表理事 片山啓吾 & 銭湯スタッフ一同



図で解説 “第3回 銭湯で遊ぼう！” とは

主催：NPO法人ソーシャライズ
(主催)



協力：NPOこことと
(企画協力)



協力：白梅学園の学生たち
& 地元の仲間たち
(企画運営協力・水遊び担当・出演)



協力：ころころの森
(物品貸し出し協力)



後援・出演：
東村山市子ども家庭部



協力：くめがわ湯 (会場提供) 出店・協賛：
株式会社ポールスタア



出店・協賛：
相羽建設株式会社



出店・協賛：
みんなでごはん官兵衛
(焼き肉出店)



出店・協力：
ローラルベーカリー
(揚げミミ販売)



協力：小島電業社
(水提供)



後援・出演：
東村山市社会福祉協議会



出演：地域にお住まいの皆さん

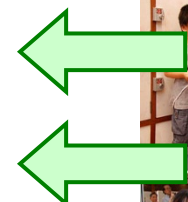
腹話術宮崎さん、スマイリングオカリーナの皆さん、リトルオキナワさん



後援：
東村山市教育委員会
東村山市商工会青年部



参加：地域の子どもたち、ママたち



東村山発の新たな取り組みを発信したい！
地域に新しい彩りを加えたい！

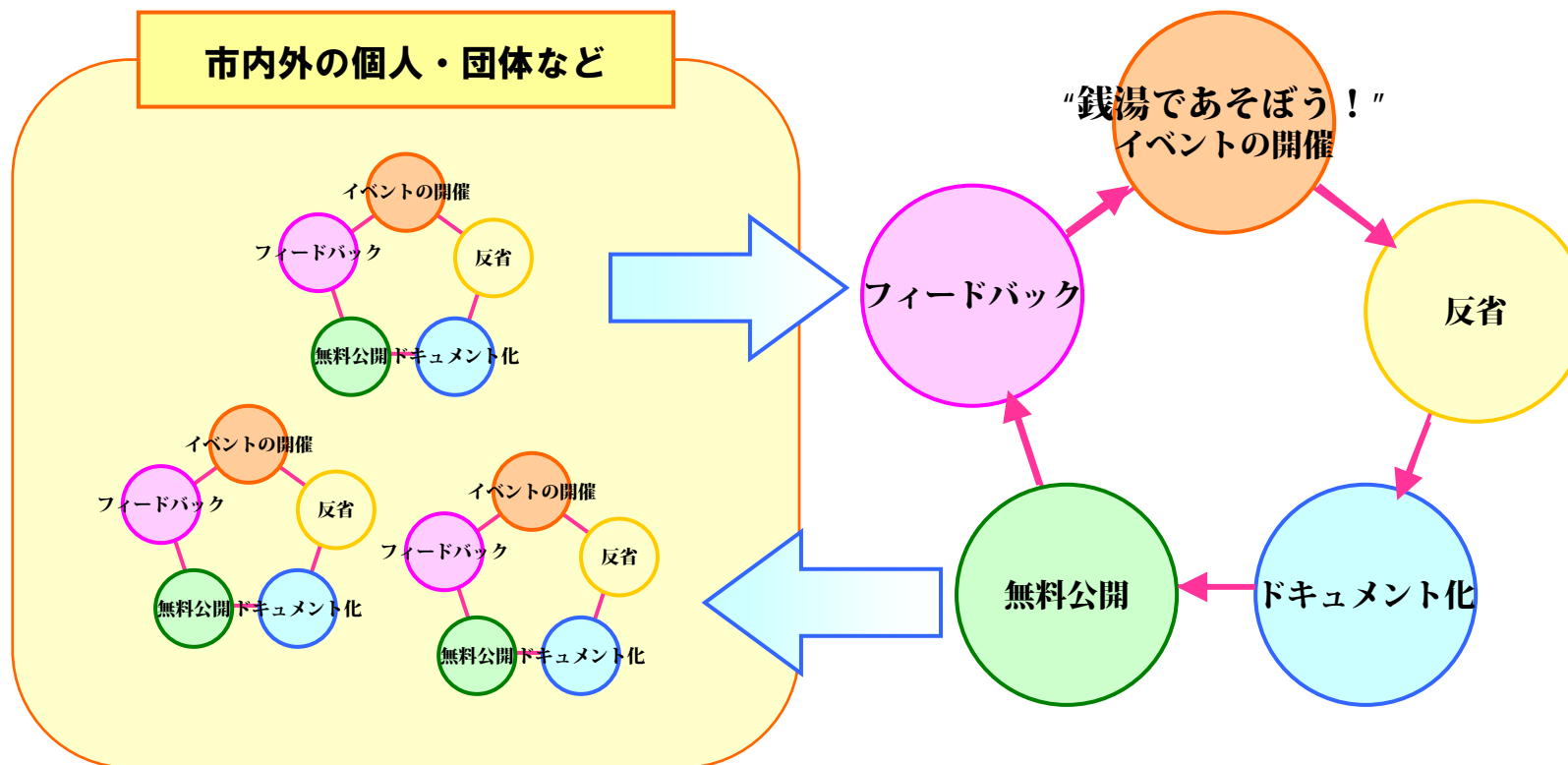
- ★親子の新しい体験の場
- ★地域コミュニティ活性化と認知の推進
- ★地域の異世代の交流
- ★地域子育て支援や
地域活動パーソンの表情を伝える
- ★“地域の中の銭湯”の活性化

イベントの開催は、一定のノウハウが必要で、未経験の人にとっては垣根がないとはいえません。本イベントでは、これで培ったノウハウなどをドキュメント化し、無償で市内外の個人・団体などへ向けて公開します。

少ないノウハウかもしれませんが、このドキュメントが微力なれど“新たな行動を起こす人”の力になればと考えています。

ドキュメント公開の狙い

- ・この取り組みを、東村山の新しい息吹を、市内外の人たちに知ってもらいたい。
- ・市内外で、同様の取り組みを検討している人がいれば、この経験を活用して欲しい。
- ・活用してくれた他団体からのフィードバックをもらえれば、お互い経験を活かすことができる。



写真で振り返る

事前準備 ① ～当日の会場設営&リハーサル～



当日の朝早くから集合。
銭湯内のカーンやドアの整備を行うほか、装飾物の準備や掲示物などの配置、遊び道具の下準備、出店のためのテント・機材設置、試作品作りをする。今回は初めて、受付を番台から外へと変更させた。スタッフ出演の音楽演奏のリハーサルも実施。これまでよりスタッフが増員されたため、各担当者や係を分担して効率よく準備することができた。

開場～開演（スタッフ・東村山市こども家庭部紹介）



本日のスケジュール
 11:00(開演) スタッフ紹介
 腹話術行
 スカバンド
 12:00(お昼) スマイルنگオカリーナ
 * 出なまいろいろあります!!
 (3:00(午後部) 沖縄三味線
 エアロシスター
 ぬりぬり遊心
 お風呂にじゃがん
 おくおく銭湯!!
 15:00(閉演)

開場開始時間から、次第に子どもを連れたママたちがと銭湯にやってきた。
 今回は受付を初めて外に設置。
 開演までの間は、銭湯内で写真を撮ったり、折り紙をしたり、鏡で遊んだり。折り紙のコマは毎度好評だ。
 そして開演11:00。
 今回はピンマイクを借りて、司会・進行役を設けた。



学生メンバーによる音楽演奏が行われた。
ギターとオリジナルダンスで歌う『かえるの合唱』はママにも子どもたちにも分かりやすく、銭湯の桶を使ってみんなでたたきながら楽しんだ。
オカリナの音色や腹話術の面白い話も会場を更に盛り上げた。



女湯フロアでお昼ご飯を食べるママと子どもたち。
 男湯フロアで休憩と昼食をとる出演者たち。
 外では学生たちが焼きそば・かき氷を販売。
 地域の焼き肉店やパン屋さん、お豆腐屋さん参加。
 建設会社さんの体験ブースでは木工作りができる。
 銭湯内では前回に続き、過去の銭湯イベント写真も展示。

午後：琉球三味線～エプロンシアター～



午後の部が始まる前に、社会福祉協議会の職員方が手のリコマの実演と学生持ち寄りのギターで遊ぶ子供たち。実際に手に触れられるということで子どもたちも夢中。笑顔が輝いていた。

琉球三味線の演奏でスタートした午後は、手踊りをみんなで。エプロンシアターでの子どもたちは、食い入るように真剣に話を聞いていた。

午後：ぬりぬり遊び ～みんなでのれんに色を塗ろう～



真っ白な布や紙に、安全な絵の具や色
つきのシャボン玉を使ってペタペタ色塗り。

汚れてもすぐに水で落とせる遊びは
銭湯だからこそその催しものと言える。

遊ぶ前には子どもたちに約束事を説明
したりと、スタッフ全員で円滑に行った。

出来上がった色つきの布はのれん・旗
となって、後日銭湯に飾られる。



毎回大人気の『お風呂でじゃぶん』
手作りのペットボトルおもちゃも用意したが、
手でバシャバシャさせてはしゃぐ子どもの方が多かった。
今回はお盆中の開催もあつてか、パパも一緒に参加する
親子もみられた。



銭湯ご主人の「ゆっくりお湯に浸かるのが銭湯の醍醐味」という思いに賛同し企画した、もうひとつのお風呂遊び『わくわく銭湯ツアー』は、学生が主体になって考えたオリジナル企画。

事前予約で参加人数を限定し、参加者にはおふろ駅行きのチケットが渡され、黄色いタオルを巻いた人の行動を真似ながら、“銭湯の入り方”をレクチャーする。

『お風呂でじゃぶん』とは一味違う、ゆったりと和やかな雰囲気になった。



今回もあっという間に閉演。

銭湯ツアー終了後、全体を片付けながら『ぬりぬり遊び』で彩られたのれんや旗に、学生たちが代わる代わる文字を入れる。

『銭湯で遊ぼう!』も2年目を迎え、メンバーも増えたなかで交わされたたくさんの意見やアイデアは、メンバー内の絆をより深めた。

総勢22名での集合撮影は、第4回目を締めくくる良い記念となった。

ご協力、ありがとうございました！

■出店・協賛

- ・株式会社ポールスタア 様（黒焼きそば出店（当日はイベントスタッフが代行））
- ・相羽建設株式会社 様（木工コーナー出店）
- ・みんなでごはん官兵衛 様（焼き肉サービス出店）

■物品提供・告知協力

- ・東村山市 子育て総合支援センター “ころころの森”（物品貸し出し・イベント告知協力）
- ・東村山市 & 東村山市教育委員会
- ・東村山市社会福祉協議会
- ・東村山市商工会青年部
- ・ローラルベーカリー様（あげみみ販売）
- ・小島電業社様（氷提供）
- ・吉澤厨房サービス様（焼きそば焼台提供）

■出演協力

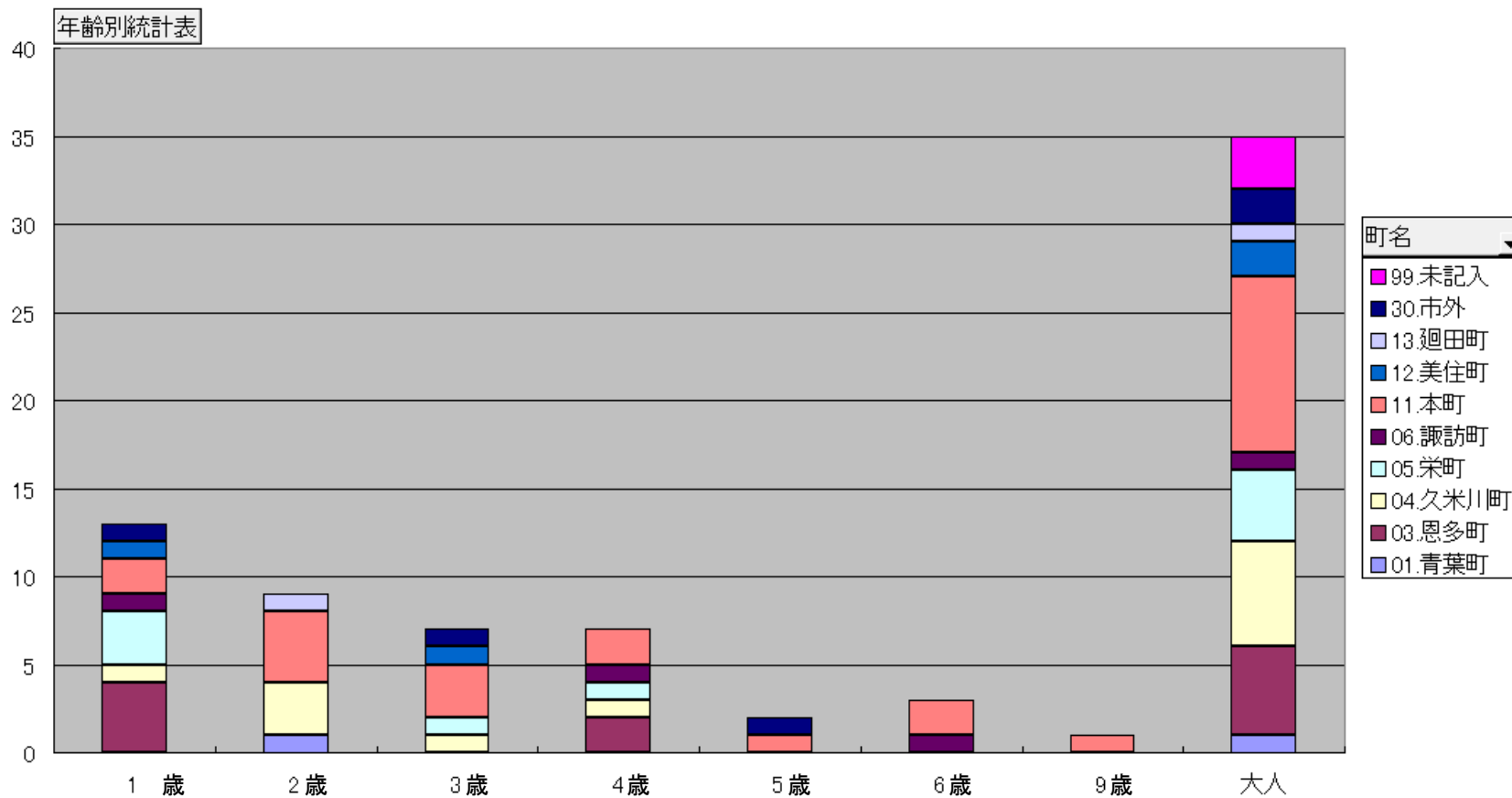
- ・スマイリング・オカリナーのみなさん（オカリナ演奏出演）
- ・松川秀人さん（沖縄三味線出演）
- ・NPO法人ここっと 酒井さん（エブロンシアター出演）
- ・宮崎さん（腹話術出演）

■運営・企画協力（出演含む：氏名は あいうえお順）

- ・くめがわ湯（運営協力・会場提供）
- ・白梅学園の学生たち&地元の仲間たち（企画&運営協力・司会／スガバンド／水遊び／銭湯ツアー出演）
磯部愛実さん、井出麻生さん、井上雄太さん、大江史朗さん、大久保美早さん、大森美歩さん、岡崎浩幸さん、
木谷春香さん、児玉菜々子さん、座間明日香さん、菅原裕貴さん、高本希さん、辻本奈津子さん、利光夢子さん、
藤田拓也さん、古内信伍さん、本江剛、松浦栞さん、森本和真さん、吉田ちひろさん、渡部梢さん
- ・NPOここっと（企画協力）
- ・NPOソーシャライズの仲間たち（主催・運営・記録）

第4回銭湯で遊ぼう来場者数

大人 35名
 子ども 42名
 合計 77名



第4回 2010. 08.11

	日付	項目	品名	場所	金額
支出の部	6月2日	施設費	会議	中央公民館	700
	6月18日	施設費	会議	中央公民館	700
	6月30日	施設費	会議	中央公民館	700
	7月9日	施設費	会議	中央公民館	900
	7月12日	雑費	マッチカラー	株式会社トゥールズ	1698
	7月13日	雑費	イベントカラー赤	カフチネットショップ	1522
	7月16日	施設費	会議	中央公民館	700
	7月30日	施設費	会議	中央公民館	700
	8月4日	雑費	マッチカラー	まっち絵具製造	13436
	8月6日	施設費	会議	中央公民館	900
	8月9日	雑費	かき氷容器	吉野商店	295
	8月9日	雑費	紙コップ、割り箸な	吉野商店	1625
	8月9日	雑費	水風船、ビニール	ビーコック阿佐ヶ谷	210
	8月10日	雑費	割り箸	ダイソー	105
	8月10日	雑費	画用紙、虫除け、	100均レモン	630
	8月10日	保健代	イベント 保険	AIU保険	2320
	8月10日	食料品	食料品仕入れ	ボールスタア	5313
	8月10日	雑費	画用紙代	100均レモン	420
	8月10日	食料品	麦茶	ビック・エー	584
	8月10日	雑費	ガムテープ	100均レモン	105
	8月10日	食料品	豚肉バラ	ジャパンミート	699
	8月10日	施設費	会議	中央公民館	1050
	8月11日	寄付	学生たちへ謝礼	揚げ耳、かき氷売上	5400
	8月11日	レンタル	黒焼きそば用ガス	吉澤厨房サービス	5000
	8月11日	食料品	お茶	いなげや	690
	8月11日	雑費	紙パック	いなげや	228
	8月11日	雑費	筆	100均レモン	210
	8月11日	食料品	もやし	いなげや	400
8月11日	移設費	会場使用料	くめがわ湯	10000	
8月19日	施設費	会議	中央公民館	700	
				57940	
収入の部	7月30日	カンパ	カンパ	個人	10000
	8月11日	販売売上	揚げ耳		900
	8月11日	販売売上	かき氷		4500
	8月11日	販売売上	黒焼きそば		12750
		協賛費	協賛費	相羽建設、ボールスタア、官兵衛	30000
				58150	

次回繰り越し

210



特定非営利活動法人ソーシャライズ 法人概要



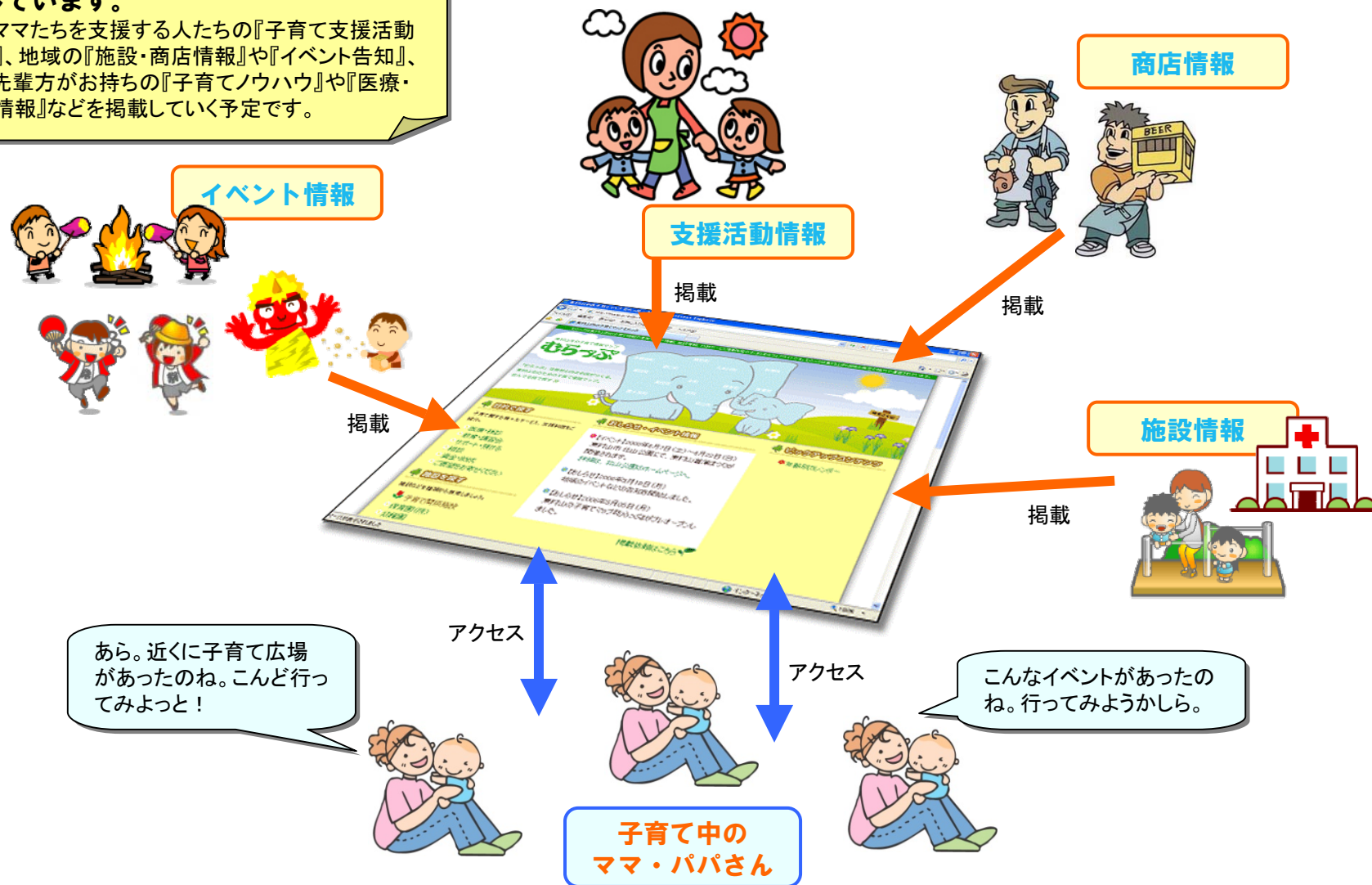
「こんなのがあればいいのに」「こうだったらいいのに」
 誰もが口にするこの言葉。
 だけど、何もしなければ何も変わらない。それはみんながわかっていること。
 ならば、今ここで改めてスタートしていこう。
 必要なものが今そこにはないならば、必要とする自分たちが創っていこう。
 何かが変わり、うまれるのを待つのではなく、自分たちが変え、うみ出していこう。
 そんな思いで創ったNPO法人です。

私たちソーシャライズは、
 私たちの“まち”をより住みよい“まち”にするための第一歩として、
 『子育て支援情報の提供』に取り組んでいます。

法人名	特定非営利活動法人ソーシャライズ
代表者	かたやま けいご
メンバー	理事 秋葉 秀央(NPO法人TINA 代表) 原 直之 監査 土田 慎太郎(法律事務所あすか 弁護士) 社員 8名
事務所	東京都東村山市久米川町3-21-1-206
連絡先	Keigo@sociarise.or.jp 090-4841-7423(片山携帯) 042-306-0606(TEL) 042-306-0607(FAX)
設立日	2008年12月24日(2008年4月活動開始)
主な活動内容	東村山市の子育て支援情報サイトむらっぶの運営・管理

現在の活動内容① ～子育てマップ“むらっぶ”とは～

**むらっぶは、
地域の子育て支援情報プラットフォームを
目指しています。**
子育てママたちを支援する人たちの『子育て支援活動の告知』、地域の『施設・商店情報』や『イベント告知』、子育て先輩方がお持ちの『子育てノウハウ』や『医療・健康の情報』などを掲載していく予定です。



★コミュニティ運営

【花さき保育園】

地域とのコラボレーションで実現。園が運営する青葉町の3つの子育てひろば

【HUG子どもパートナーズ】

暖かい雰囲気のがちちょう子育てひろば

【コミュニティスペースよるべ】

久米川辻そばの一軒家は親子が集まるほのぼのコミュニティ

【ころころの森】

旧保健所にできた、子どもとママ&パパの楽園！

★保育所・幼稚園運営

【東村山 5名の保育ママ】

家庭の雰囲気そのままに。子どもとのこの距離感が保育ママ♪

【NPO法人東村山子育て支援ネットワークすずめ】

木の香りがするおしゃれな保育園も 現役ママたちの活動からはじまった

★ミニコミ誌発行

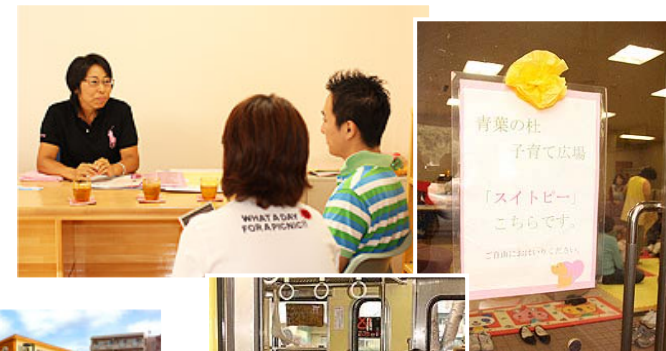
【トコトコ・ワールド】

きっと手に取った方も多はず。情報ぎっしり”トコトコ通信”

★図書館

【くめがわ電車図書館】

地域のママ&パパがつくった、東村山で最も歴史ある、ちょっと変わった図書館？



現在の活動内容② ～ まちの銭湯で子育てイベント（下記は第2回目の様子）～

主催：NPO法人ソーシャライズ
（運営・屋台出店）



協力：NPOここと
（運営協力・カフェ・出演）



協力：チーム白梅学園
（運営協力・水遊び担当・出演）



協力：富士見町の前田さん
（運営協力・出演）



協力：ころころの森
（物品貸し出し協力）



協力：くめがわ湯
（会場提供）



出店・協賛：
ポールスタア株式会社
（東村山名物 黒焼きそば）



提供・協賛：
豊島屋酒造株式会社
（水・酒樽）



出店・協賛：
相羽建設株式会社
（天然素材 木工教室）



出店・協賛：
多摩きた生活クラブ生協
まち・東村山
（石けん教室）



出店・協力：
ご近所の越屋豆腐店さん
（冷や奴）



出演：地域にお住まいの皆さん



後援：
東村山市（子ども家庭部子育てエリア担当）
東村山市教育委員会
東村山市社会福祉協議会
（物品貸し出し協力）



参加：地域の子どもたち、ママたち



東村山発の新たな取り組みを発信したい！
地域に新しい彩りを加えたい！

- ★親子の新しい体験の場
- ★地域コミュニティ活性化と認知の推進
- ★地域の異世代の交流
- ★地域子育て支援や地域活動パーソンの表情を伝える
- ★“地域の中の銭湯”の活性化

2009年3月18日/8月26日、2010年3月18日に開催しました

昭和の銭湯。

その空間は、地域の人たちが顔を合わせ、声を交わし、老若男女が集う地域コミュニティの主役的存在。まさに小さな「地域」がそこにはあったのです。

そして今。

地域コミュニティの主役だった銭湯は、自宅風呂の普及と共に利用者減少し、当時の元気だった面影が薄れてきてます。

『今こそ銭湯』

銭湯は、天井が高く、お湯の音がこだまする非日常の空間。

銭湯を知らないなんてもったいない！

あなたも、ぜひ、このイベントに足を運んで、銭湯を体験してみませんか！？





片山啓吾
1977年12月生まれ
東京都東村山市 出身。

1998年 東京工科専門学校 情報処理科卒
トランスコスモス株式会社 入社
UNIXに関するシステム・ネットワーク設計に携わる。

2000年 個人事業デジタル・アドバイザー 設立
同社代表に就任。
ウェブサイト制作受託業務を開始するも2ヶ月で解散。

2001年 有限会社デジタル・アドバイザー 設立
同社 代表取締役就任。
ウェブサイト制作の制作業務を開始。
自社サービス、メール配信システムを販売開始。
国内初のインターネットを活用した計画外流通米の
流通事業をNPOとして立ち上げる。

2003年 株式会社シリウステクノロジーズ 設立
同社 取締役ビジネスクリエイターに就任。
事業戦略、アライアンス戦略、システム設計等を担当。
主に、
・国内初のSNSサービスの立ち上げに参画
・世界初のモバイルGPS連動型SNSの立ち上げ
・世界初のGPSを活用した広告配信サービスの立ち上げ
などに携わる。
現在もGPSを活用した広告配信サービスでは
モバイルサイト大手のモバゲータウンなどで採用されている。

2008年 NPO法人ソーシャライズ、株式会社ユナイテッドリンクスを設立。
まちの発展につながるウェブコンサルティング事業、
人に喜ばれるソリューション開発を行う。
他、NPO TINA理事、株式会社アトランティス顧問を兼任。



←東村山の子育て情報マップ むらっぶ
地図やカテゴリから地域情報を検索できる。

↓九十九里スーベニアネット

経済産業省認定の助成事業。
九十九里浜の観光情報やお土産情報を掲載。
九十九里の魅力を市内外に発信。



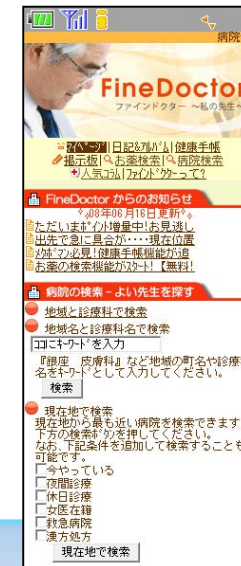
↓おこめナビ

全国440の稲作農家をネットワーク。
生産者の顔と思いが伝わるお米販売。
同社NPOでは稲作農家への就農支援
なども行う。
ちなみに、片山は同NPOの理事。

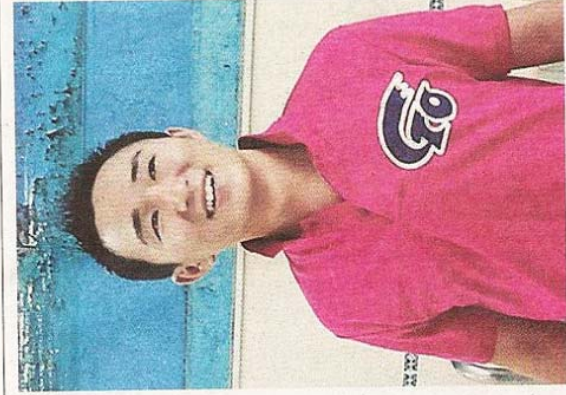


↓ファインドクター

診療科や症状、GPSなどで病院を検索。
掲示板やポイントシステムなど。



(計3種郵便物認可)



メモ 東村山市野口町出身で、同市久米川町在住。I専門学校で情報処理を学び、IT(情報技術)関係の会社勤めを経て、現在は自宅でもホームページの製作などを請け負っている。「むらっぶ」のアドレレスは、<http://murap.jp/>

「折り紙で、こんなごまく花の形が作れるんですね。お年寄りが幼児に折り方を教えているのを見て、近くにいた母親が感心していた。腹話術の人形劇では会場内に笑い声が響き、沖縄三味線の演奏が始まると大人も幼児も一緒に踊り出す。

普段からよく通っている東村山市本町の「くめがわ湯」で今年3月に開いた「銭湯で遊ぼう!」のひとつだ。市内の0〜3歳児と保護者ら約

イベントを主催する
片山 啓吾さん 31

銭湯で地域交流

70人が参加し、運営には地域住民らが携わった。

主催したのは、自身が昨年12月に設立したNPO法人「ソーシャルイズ」。初めてのイベント開催だったが、「みんなが銭湯という場を共有しつなかりを深められた」と手応えをつかんだ。

銭湯をイベントの舞台に選

んだのは、利用客の減少に苦しむ地域コミュニティを守りたいという思いがあるからだ。幼い頃に通った市内の銭湯では、見知らぬ大人がよく声を掛けてくれた。「何歳だ」「水を入れます」と、ほかの人が入る時にぬるくなるよ。人と触れ合うなかで社会のルールを学ぶ場所でもあった。

昨年10月、妻の綾乃さん(32)と、埼玉県所沢市から東村山市内に戻ってきた。「自然豊かな東村山で子育てがしたい」というのがその理由。ちょうどその頃、市内の子育て支援団体などを紹介するホームページ「むらっぶ」を開



設した。団体取材した際の写真やコメントを掲載し、どんな人たちが活動しているかを知ってもらうことで、気軽に利用しやすくなる「顔の見える紹介」を心掛けた。

「ないものは、自分たちで作ればいい。座して待つことはない」が信条。子育てへの関心を通じ、街の行政や防犯、自然環境など、まちづくりへの意識が広がることを願う。

今月26日には、「くめがわ湯」で第2弾のイベントを計画している。今回は対象年齢を広げ、地元企業の協力も決まった。

今年5月に長男が誕生し、「お子さんは元気ですか」といった地域での何気ない一言が心の支えになっている。

(岡本裕輔)